

科目名		開講時期	開講学年	◎/ 選	2 単位 (90h)
在宅看護実習（～21HN）		通年	3		
担当教員名	電子メール		オフィスアワー		
※野村政子、常名陽子、 植竹有香	masako.nomura@tohto.ac.jp		随時		
授業の概要					
訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所、その他施設（などの機関）を通して地域で生活する人々や環境を知り在宅で提供する看護について学ぶ。また、保健医療福祉のリソースを活用した個人・家族の健康の保持増進のための援助について学ぶ。					
キーワード	到達目標				
在宅看護、訪問看護、家族理解、継続看護、在宅ケアシステム、介護保険制度、関係法規、社会資源、多職種との連携・協働	1. 在宅看護の対象である療養者とその家族を理解する。 2. 在宅における看護過程の展開を実践する。 3. 看護の継続性と多職種との連携を理解する。 4. 訪問看護ステーションの組織や運営方法などについて理解する。				

授業の計画・形式					
第 1 週	1. 学内・臨地で実習オリエンテーションを受け、事前学習を追加する。 2. 受け持ち療養者の同行訪問から情報収集を行いアセスメントする。 3. 療養者が生活する地域の状況を把握する。				
第 2 週	1. 療養者の全体像を把握し、看護計画、実施、結果から評価、看護計画の修正を行う。 2. 地域における療養生活を支える多職種との連携方法を知る 3. 他施設（多機関）や訪問看護ステーションの多様性について実習報告会を行う				
教科書、参考書					
教科書	1. 臺有桂ほか著「ナースング・グラフィカ 在宅看護論 1 地域療養を支えるケア」 メディカ出版 2. 正野逸子ほか著「ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論 2 在宅療養を支える技術」 メディカ出版 3. 正野逸子他関連図で理解する, 在宅看護過程第 2 版, メヂカルフレンド社, 2018				
参考書					
先修要件					
2 年次後期までの学年進度とされているすべての必修科目の単位を修得し、3 年次前期の学年進度とされている必修科目の単位を修得見込みであること					
成績評価					
本試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・演習）	その他	合計
0%	0%	0%	0%	課題レポート・ 実習内容・記録 100%%	100%
担当教員からのメッセージ					
在宅で療養されている方々の生活の場に直接伺います。訪問者としてのマナー、身だしなみに気を配り、学生として謙虚な姿勢で行動しましょう。在宅看護の魅力を感じ将来につなげてください。					